

浅間尾根から鷹ノ巣山

鷹ノ巣山は石尾根上の一峰だが、美しく大きな山容を持ち、独立した一山としての風格がある。山頂からの展望にも恵まれ、奥多摩の名山のひとつに数えられている。

歩行 50分
(軽歩者向)

奥多摩駅⇄峰谷⇄奥⇄浅間神社⇄鷹ノ巣山⇄榎ノ木尾根⇄倉戸山⇄倉戸口⇄奥多摩駅
体★★ 技★★ 危★★

コースの特徴

峰谷からの浅間尾根コースはアプロ1チが不便だが、標高の高い位置から登山にかかるため、日原からの稲村岩尾根に比べてずっと楽なコースとなる。下山にとる榎ノ木尾根同様、美しい樹林に包まれて、落ち着いた雰囲気のある山歩きが楽しめる。里道の指導標が少ないうので分岐ではよく確認すること。

適期

4月上旬～6月中旬、7月中旬～1月上旬。奥多摩では比較的標高が高く、夏もさほど苦にならない。新緑や紅葉の頃がベストだが、稜線上にひらけた草原に色とりどりの花が咲く7月から9月にかけてもよい。厳冬期はかなりの積雪が見られ、とくに2～3月にかけての大雪には注意が必要だ。

アドバイス

山麓からの標高差が大きく、時間に十分な余裕をもって行動すること。

峰谷⇄浅間神社

50分⇄40分

奥多摩駅からの峰谷行のバスに乗り終点下車。バス停から峰谷川に沿って奥集落へ向かう。10分も歩くと茂窪谷が左から出会い、右に進んだ人家横に近道があるので見落とさないようにしたい。近道に入り斜面を登れば、奥集落外れの人家横から車道に出て、道なりに行くと奥集落の中心に入る。集落の上段から指導標に注意して、放棄された畑地を上がっていく。山裾から浅間神社の参道になり桜並木が続くが、最近枯れ木が多く寂しい。鳥居をくぐれば浅間神社の前になる。最

近は集落が過疎となり、参拝する村人が減って手入れがなされないためか、建物も傷みはじめています。

浅間神社⇄鷹ノ巣山

2時間5分⇄1時間25分

神社裏手からはしばらく植林の中の急坂が続く。ミスナラやコナラのきれいな林に入り、広い尾根通しに登っていく。やがて尾根を外れて西側の斜面に移り、三頭山方面を眺めながらゆるやかに下る。坊主谷源流の小さなクボに出ると、コンクリートで固められた水場がある。急坂を登りかえた台地には鷹ノ巣山避難小屋が建ち、前はカヤトの広場で休むのによいところだ。鷹ノ巣山へは一段上がって、南面の巻き道(水源林道)を右に分け、防火線の切られた明るい尾根通しに登る。尾根道は登るにつれ急になるが、展望もひらけて気持ちのよい登高が続く。岩の出た急坂を越えれば鷹ノ巣山に立つ。広い山頂からの展望は実に見事。奥多摩の山々はいよいよおよばず、富士山、大菩薩、丹沢の山々を見渡すことができる。少し位置を移せば雲取山、南アルプスも視界に加わる。ゆっくり山上の一時を過ごしていこう。

